

共通言語の予想してみた

班員 日吉智哉 三重野皓太 永井孝明 後藤七虹海
指導者 野別 千夏先生 竹田 心美先生



37



1. 序論

高校で必修科目となった英語が国際共通語とされている時代だが、仮に英語が言語として衰退していったとき、次に必要とされる言語は何なのか気になったため。

2. 研究の方法

① アンケート調査

…生徒・教職員の国際共通語に対する認識を把握するため。

② 二つの観点からの予測…貿易や国際会議などで国際共通語が使用されることから、**経済的観点**から見た今後の展望を予想した。さらに、これまでに**植民地支配**された国々がそのまま植民地時代の言語を使用したことから、**軍事的な力**によっても**言語政策**に影響を及ぼすのではないかと考え、**軍事的観点**から見た今後の国際共通語の変容を予想した。

③ 専門家とのお話…専門家からのご意見や情報提供により、研究に深みを出し、さらに踏み込んだ検証を行っていくため。

④ 結論を出す…①～④の結果を勘案し、一つの言語を決める。

3. 結果

[1] アンケート調査

対象：延岡高校 2年 生徒・教職員

質問事項

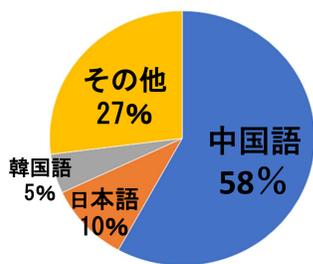
① 国際共通語は何になるか？

② なぜ①になると思ったのか？

③ 現在の国際共通語が英語になったのはなぜか？

結果：

- ① 1位 中国語 2位 日本語 3位 韓国語
- ② 人口数の多さ・文法が簡単・イメージの良さetc.
- ③ 歴史が関係している・権力が強いetc.



[2] 2つの観点から見た国際共通語

① 軍事的観点

*1Military Strength Ranking 2021は

兵隊の人数や兵器の数など50項目を総合的に判断して、ランク付けしたものである。*1によって、**軍事的観点**からみると、

1位 **英語(アメリカ)**、2位 ロシア語(ロシア)、3位 中国(中国語)が、**軍事的観点**から見た結論だといえる。

② 経済的観点

まずは、*2GDPの数値に注目した。これから経済力が上がっていく可能性が一番高い発展途上国に注目し、ここ数年のGDPが上がっていくと考えた。先進国の中国はGDPは上がっており、途上国との関係も多いと考え、**中国語**が1位、中国の経済力に次ぐASEAN共通語であるインドネシア語が有力候補だと絞った。

*1: 1Military Strength Ranking 2021 Global Firepower社が毎年発表している、人口や兵力、兵器、国防予算、地理など50項目以上を活用し、国家のパワー・インデックス点数を算定し、ランキング化したもの。

*2: GDP (国内総生産) : 一定期間内に国内で産み出された物やサービスの付加価値の合計のことである。

[3] 専門家とのお話

神戸海星女学院大学 現代人間学部 英語観光学科の小野礼子教授から、教育的観点から見てほしいというご指摘があり文献をもとに調査した。



教育的観点

世界の学校教育で必修化されている外国語の中でどの言語が一番必修化されているのかをランク付けしました。

・調査対象国 17か国

※以下の数字は、複数の言語を必修化している国があるため1言語使うにつき1か国と数えています。

- 1位 **イギリス(英語)** 14か国 2位 **フランス(フランス語)** 7か国
- 3位 **ドイツ(ドイツ語)** 5か国

[4] 結論を出す

以下の表より1位に英語圏の国が二か国ランクインしているため、今後の国際共通語は**英語**であると予想した。

	アンケート	軍事	経済	教育
1位	中国語	アメリカ	中国	イギリス
2位	日本語	ロシア	インドネシア	フランス
3位	韓国語	中国	英語	ドイツ

4. 考察

○アンケートの結果からは、**経済的観点**から国際共通語の予測をする人が多いことが分かった。

○また、日本語を選んだ人の背景としては、母国語が国際共通語となつてほしいという希望を持った人が多いと分かった。

○インドネシアは、多くの会社で社内での公用語として英語が採用されているため、**経済界**でも英語の影響力が大きいことが分かる。

○先進国のGDPが下がっている国が多い一方で発展途上国では、上がっている国が多い。

○今後、世界規模の戦争などで英語圏の国が負けたとしたならば、国際共通語が変わる可能性もある。

5. 謝辞

まず、私たちの研究にご協力いただきました、神戸海星女学院大学 現代人間学部 英語観光学科 教授 小野礼子様へ感謝申し上げます。さらに、研究の間様々ご助言、ご指導をいただきました、担当教諭の野別千夏先生、竹田心美先生には感謝の気持ちでいっぱいです。加えて、本校ALT エミリー・ローソン・ハメット先生、宮崎修子先生にも、ご協力を賜りましたありがとうございました。最後に、延岡高校2学年の生徒・先生方にはアンケートにご協力いただきました。重ねて御礼申し上げます。

参考文献

1. Data Book of The WORLD -世界各国要覧と最新統計- 二宮書店 Vol.32,33
2. https://abp.co.jp/perspectives/business/54_2018.html
3. <http://www.uraken.net/rekishi/reki-tonan01.html>
4. <https://ameblo.jp/ladiesandgents/entry-12578922392.html>
5. 新編 地理資料2021 星沢卓也 東京法令出版
6. 新詳高等地図 帝国書院編集部編 帝国書院
7. https://10mtv.jp/pc/column/article.php?column_article_id=1933
8. 過去志願者数 | 中検 | 中国語検定試験 (chuken.gr.jp)
9. <https://www.globalfirepower.com/countries-listing.php>
10. http://www.kyoi-ren.gr.jp/_userdata/pdf/report/R01_kenkyuu_5sougou.pdf
11. <https://www.jpff.go.jp/j/publish/japanese/euro/pdf/02.pdf>